



認定看護師への道



新生児集中ケア認定看護師

2011年取得

9階西病棟 城戸真紗美さん

認定看護師を目指そうと思ったきっかけ

新卒で配属になったのが9階西病棟（NICU）でした。繊細なケアが必要なNICUの看護は、緊張と反省の連続でしたが、ご家族とともに嬉しそうに退院する姿を見られることがやりがいでした。私が新生児集中ケア認定看護師を目指すきっかけとなったのは、入職後数年が経ったときにいただいたご家族からの手紙です。それは、小さく生まれた我が子のことで不安いっぱいの中、看護師の声かけが安心と力になり忘れられない…という感謝の内容でした。このときNICUに入院したことはご家族の心に残ることだと実感し、自分の仕事に大きな責任を感じたのを覚えています。それから、「自分は今まで一人ひとりの新生児・家族に最善のことができていたのか」「もっと知らないことがたくさんあるのではないか」と思うようになり、認定看護師の道を志しました。

認定看護師として活動していること

看護スタッフと協働して部署での学習会を企画するとともに、個別に指導・相談活動を行っています。また、新採用助産師研修の講師として新生児蘇生法の講義・演習も担当する等、看護スタッフの育成に取り組んでいます。

今後も、NICU退院後の赤ちゃんのすこやかな成長発達のために、市立札幌病院の小児科関連部署間の連携の強化に携わりたいと思っています。

認定看護師制度の再構築により、新生児集中ケア認定看護師の領域に退院支援が含まれることになりました。自分自身も更に研鑽を積み、NICUを退院した患者家族の支援にも、自身の能力が活用されるよう取り組んでいきたいと考えています。



認定看護師として大切にしていること

毎日、赤ちゃんがいろんなことを教えてくれ、看護師としても人間としても日々成長させてくれていると感じています。そして、常に「赤ちゃんにとっての最善を考え行動すること」を考え、学び続けながら自身の能力を高めていきたいと思っています。また、認定看護師として、「赤ちゃんにとって最善はなにかを常に考えて看護ができる」看護スタッフを育成したいという思いがあり、勉強会等様々な機会を通してコミュニケーションを良好にしていくことを大切にしています。そして、看護スタッフが積極的に「赤ちゃんにとっての最善」を考え、実践している姿を見ると、自分の活動の成果を見せてもらっているようで、それが自分の力となり、やりがいを感じます。